

電磁界理論研究会

〔委員長〕 古川慎一（日本大学）

〔幹事〕 鈴木敬久（東京都立大学）， 中 良弘（宮崎大学）

〔幹事補佐〕 新納和樹（京都大学）

日 時 令和4年6月23日（木）10：00～15：05

場 所 電気学会会議室（東京都千代田区五番町 6-2）

連 催 電子情報通信学会 電磁界理論研究会(IEICE-EMT HOMAT HORIZON ビル8階)

議 題 テーマ「電磁界理論一般」

6月23日(木)午前 EMT/IEEEJ-EMT 1 10:00～11:45

10:00-10:05 開会の挨拶

EMT-22-31 電荷生成消滅場によるディラック方程式の拡張と FDTD 法による原子軌道生成シミュレーション

○武藤秀樹（リンク・リサーチ）

EMT-22-32 円筒波展開に基づく重み関数を用いた一次元円走査レーダ散乱断面積近傍界遠方界変換

○赤嶺賢彦・戸村 崇・広川二郎（東工大）

EMT-22-33 薄い導体平板内のスリットによる E 偏波平面波の回折 ～ 任意のエッジ特性を組み込んだ解の導出 ～

○芹澤弘秀（沼津高専）・高階未来翔（東大）

EMT-22-34 TD-SPT による後方過渡散乱磁界の応答波形を用いた散乱体情報の推定法 ～波源と観測点異なる位置にある場合～

○後藤 啓次・河野 徹(防衛大学校)

6月23日(木)午後 EMT/IEEEJ-EMT 2 13:00～15:05

EMT-22-35 歯形付導体板の歯形幅比に対する反射散乱特性－垂直偏波（TM 波）入射－

○平野 誠・松林 一也・高熊 亨(防衛装備庁次世代装備研究所飯岡支所)

EMT-22-36 交互にストリップ導体を配置した分散性媒質のパルス応答解析 ～ 高次入射パルスによる検討 ～

○尾崎亮介・王 淳・山崎恆樹（日大）

EMT-22-37 光学的線形判別分析を用いた誘電体表面上の微細な三次元凹凸識別の形状許容性検証

○島田慎吾・杉坂純一郎・平山浩一・安井 崇（北見工大）

EMT-22-38 広帯域偏波変換特性を有する L 字型素子で構成されたリフレクトアレーの検討

○谷澤壮太・北井健人・出口博之・辻 幹男（同志社大）

EMT-22-39 コルゲート導波管 HE11 モードを用いたミリ波渦場の FDTD 法特性評価に関する研究

○川口 秀樹,千葉 一輝(室蘭工業大学)

◎ 講演時間 1 件当り 25 分（質疑応答 5 分を含む）